

# 幼児教育者として身体表現の効果的な アプローチのために

幼児教育学科 中 林 篤 子

## はじめに

舞踊は原始時代から人類と共にあった。古くは占いや祈り、宗教的な場面と深く結びつき、文明社会になるとフォークダンスや民謡、盆踊りなどのように踊って楽しむ、みせる、鑑賞される舞踊、バレエ、能楽のように美の型の完成された踊りとなり今もなお私たちに大きな芸術的な感動を与えてくれている。

しかし、近代芸術の革命は、特定の人が踊り、観るではなく、純粹に自由に己の感情や思想を律動的な動きによって表現する、つくりだす舞踊（創作舞踊）へと現在芸術の1つに位置付けられた。昭和22年から新教育方針のもと、身体運動を通して、「踊りを教える、習う」ことから「踊りをつくる」こと、すなわち、体で自己表現することで「人間形成」という教育目的達成の手段として現在に至っている。

教育としての舞踊の目的は、舞踊の創作活動が子どもの個性に及ぼす思索的な影響である。指導の主な内容は、子どもの表現欲求を培養し、集中させて、自然運動を理解させることになる。これが大人になり、人間活動の中の豊かな動きを観察し、感受し、より広い視野に目覚めさせることになる。

舞踊創作を通して健康で豊富な運動能力を持つ身体をつくり、知的、情的にバランスがとれて文化的価値を追求する姿勢を備えた資質の高い幼児教育者を育成するものである。

## I 舞踊創作の実際

教育舞踊指導の原理は出来上がった「踊りを教える」ことではなく、科学的方法論により舞踊創作の始めから踊りが出来上がるまでに至る全過程に及ぶものである。

舞踊は他の芸術行為と同様心象表現の一方法であり自己の思想や感情を自由に身体で表現することであり、いかに自己を表現し、いかによく相手に伝達できるかである。表現の素材が自己の身体であるという点は他の表現活動と異なる。

人間性の調和的発達を目標に健康、運動的表現的身体、リズム感の発達、空間形成能力、即興能力、豊かな表現力、高い情操、創造する能力、審美的な能力を高めるためである。学習を指導する教師は、舞踊に関する専門的教養と創作体験を持っていなければならない。その前提条件として創作舞踊の専門的知識と技術とを身につける必要がある。その基本科目として、舞踊身体育成法、空間形成法、即興、動きのスケッチ、創作実習等の指導内容を行っている。

## 1 第1段階 —「習作」—

基本科目の要素を条件とした創作実習

授業内容（例）

- 「数字、ひらがな」 — 表現とは？ 誰でもどこでも何でも自由に簡単に身体で表現できることの体験
- 「伸—縮」 — 二つの運動からいろんな表現の発見（1人→2人で）
- 「走—止」 — 即興練習、3人でリズム・空間形成、たのしく表現する。
- 「飛ぶ跳ぶ」 — 創造力高める→動きのスケッチ、相互観察、表現の多様性体感する。
- 「擬態（声）語」 — 個々のイメージと表現方法の多様性を体験する。
- 「形容詞」 — 抽象的なイメージを工夫して表現する。
- 「野外に出て五感で感じたこと」 — 観察する目（心）で自然やものの美しさに感動し、動きのスケッチをする。
- 「宇宙・対話・情報社会」 — このテーマで表現内容をどのように構成・展開させるか創意工夫する。

## 2 第2段階 —「作品づくり」—

表現しようとする「主題」はその人の経験がもとなる。人の経験そのものには、その人の知性によって違いがある。したがって「よい主題」の選択には高尚な知性が条件になる。次にその主題から内容的なモチーフを捉えなければならない。次にそのモチーフを動きに置き換える仕事、さらに動きのモチーフを発展させて作品にまとめる仕事がある。この間に、作品全体のリズムの見とおし適切な空間形成の発見など、そこにはいろいろの運動の美学的法則が応用され、その結果、初めてひとつの作品が創造される。

### (1) 「作品づくり」のプロセス

- ① 舞踊創作概論
- ② 即興
- ③ 動きのスケッチ
- ④ 「作品づくり」グルーピングと「主題」決定
- ⑤ モチーフ、フレーズづくり
- ⑥ 個の動き→群の動きづくり
- ⑦ 空間構成（群舞の組み立て）
- ⑧ 伴奏音づくり
- ⑨ 衣装づくり
- ⑩ 舞台照明のデザインと操作
- ⑪ 舞台演出
- ⑫ 作品完成

⑬ 発表（フェスティバルで発表、VTRに撮影）

⑭ 鑑賞と反省（VTR視聴）

(2) 創作ノート

☆ 創作記録用紙

\_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 回生 \_\_\_\_\_ 組

メンバー


テーマ \_\_\_\_\_

内容 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_


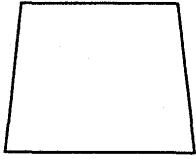
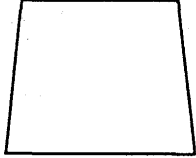
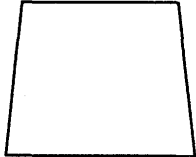
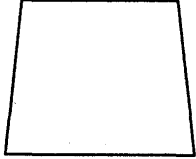
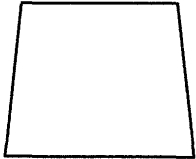
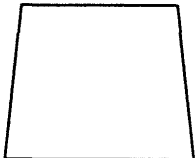
☆ 作品の空間形成（隊形図示）

① 呼間 感じ	② 呼間 感じ	③ 呼間 感じ
④ 呼間 感じ	⑤ 呼間 感じ	⑥ 呼間 感じ
⑦ 呼間 感じ	⑧ 呼間 感じ	⑨ 呼間 感じ

☆ 創作記録

月 日 ( )	限目	記録者
本時の目標		
活動内容		
動き (空間) 図示		
反省と課題 次時の予定		
欠席者		
備考		

☆ 作品の舞台プラン

時間経過 音の特徴			構成図	照明案 (色・照度%)
			(下手) (上手)  〈客席〉	
				
				
				
				
				
				

①出演順 \_\_\_\_\_ 番

②題名 \_\_\_\_\_

③時間 \_\_\_\_\_ 分 \_\_\_\_\_ 秒

④人数 \_\_\_\_\_ 名

⑤背景

(1) 幕

(2) 壁

⑥作品の最初

(3) 板付き

(4) 出 上手 \_\_\_\_\_ 人

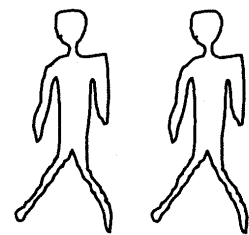
下手 \_\_\_\_\_ 人

⑦

作品のイメージ

⑧

衣装



⑨

装置

☆ 「作品づくり」の過程とまとめ（自己評価と内省作業）

幼 No. \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

	作品テーマ決定時	創作中	リハーサル時	完成時(次の日)	
自己観察					
	→	→	→	→	→
	かかわった 人への思い				

	フェスティバルで発表した	その後	ビデオを視聴して	この創作活動から自分を見つめて
自己観察				
	かかわった 人への思い			

7～8名グループ又はクラス全員で創作した作品は幼児教育学科フェスティバル（表現教科の学習発表）で発表した。過去数年の作品の題名はディズニーランド、花のワルツ、磁石、ゆめのくに、みんな大好きクリスマス、七夕、夢、四季、人と人との愛～だ!!、大自然 etc である。

－ 作品収録 －

「創作舞踊学習の良いと思うことは何ですか」という意識調査

☆（作品づくり前）

- ① 何となく楽しい
- ② 友達と楽しい時間を持てるようになる
- ③ 気分転換やストレス
- ④ 体が健康になる
- ⑤ 表現力が高まり人間が豊かになる
- ⑥ 自然やものの美しさに気づくようになる

☆ (作品づくり後)

- ① 体が健康になる
- ② 友達とよく協力するようになる
- ③ 将来の役に立つ
- ④ 表現力が高まり人間が豊かになる
- ⑤ 友達や自分の良さに気づくようになる
- ⑥ 自然やものの美しさに気づくようになる

上記の結果からも推測できるように、自由な主題、自由な発想、自由な動きで踊り、創り、観るというトータルな創作過程において作品づくりの試行錯誤はもとよりグループのお互いの感情の交流が自己評価、相互評価の積み重ねを経て心豊かな保育者への資質向上と共に、5～8分間の作品の完成をみた。さらに、「フェスティバル」での発表の感動と内省は、人間形成に重要な体験となった。

## Ⅱ 幼児へ身体表現の効果的なアプローチ

幼児の身体表現の発達は、快、不快、喜びを手足で動かすことで表現することから始まり、自己の意を伝える手段として心身の発達と共に単純な動きから複雑な動きへ、ものまねから自発的な動きへ、1人から友達と、具体的な内容から抽象的な内容表現へと伸展する。

5才児ともなれば、情緒的な安定と知的発達と相まって想像力、観察力が高まり創意工夫するよるこびを感じると共に、心身の開放、友だちとの交わりなどの表現する楽しさを感じることができる。

子どもが常に生活や環境から刺激を受け感動し、それをより高い美的価値の発見へと導くには幼児が自由な発想で自己表現を楽しめるように、幼児理解を深めつつ環境を考えることが大切である。

### 1 ー 幼児たちと楽しい表現あそび ー

幼児一人一人の発達の特性と発達の課題を把握し、その幼児らしさを損なわないように指導する。

#### (1) その1

##### 創作

##### ☆ 課題 園の一日

4, 5歳児対象、園での活動内容をテーマにグループ創作する。

楽しく友達と歌い踊りながら健康な生活の中でイメージを豊かにし様々な表現を楽しませる。

(作 品 例)

① おはよう体操

私達のグループは5歳児を対象に、おはよう体操を考えました。全身運動がより活発になる時期なので、元気に一日のスタートがされるように創作しました。

さあ一日始まりだ オー 今日も元気にモリモリモリ  
おはよう おはよう ございます  
お友だち 先生 虫さん達 お花さん  
今日も一日 ガンバルゾー!

さあ一日 始まりだ オー 今日も笑顔でニコニコニコ  
おはよう おはよう ございます  
お絵かき おにごっこ お歌の時間 紙しばい  
みんなで仲よく遊びましょ!!

② 目覚まし体操 1, 2, 3●

スキップ、けんけん、ジャンプ等取入れリズムに合わせて朝の眠気を吹き飛ばし、のびのびと自由に歌ったり踊ったりすることの楽しさを味わえるようにオリジナルで創りました。

1) おはよう、おはよう 元気におはよう 目覚まし体操 1, 2, 3●

今日もみんなで仲よく遊ば、 何してあそぶ?

スキップ体操 1, 2, 3●

お馬になろうよ (パッパッパパーパッパッパパー) × 2

2) 今日みんな仲よく遊ば、 何してあそぶ?

ケンケン体操 1, 2, 3●

かかしになろうよ (ケンケンケン、ケンケンケン) × 2

3) 今日みんな仲よく遊ば、 何してあそぶ?

ジャンプ体操 1, 2, 3●

カエルとカンガルーで (ピョーンピョーンピロンピヨン) × 2

今日も元気に 1, 2, 3 オー!!

③ 今日の絵本はなんだろな!

私たちは言語が活発になり質問が多くなる4歳児を対象として、絵本に興味を持たせ、ワクワクするような歌とダンスを考えました。

1) おしりふーりふり × 2 おしりふーりふーり ふりましよう

みんなでおしりをしずかにおろそう ラッラッラ ラッラッラー

2) ラララみーぎみみ、 ラララひだりみみ りょーみみできましよう



- ぞうさんのおみみでみんなできこう よくきこーえーる (ウー)
- 3) 次はおめーめ×2 おめめをくーりくり まっすぐまえみて  
よそみはなしよ よ〜くみえるー (ウー)
- 4) 次はりょーうあし×2 おーむすびつくりましょ  
次はおててでのーりをまこう おいしくできたかな?
- 5) 次はおくち×2 おくちをシッシッシー  
おくちはチャックでおやすみしよう しずかにきけるかな?

④ 歯みがき

5歳児は、連続的な動きが出来るようになるので、友達と一緒に工夫したりできる動きを考えました。

歯をみがきましょ シュツシュツシュツ シュツシュツシュツ  
バイキンさんとは バイバイバイ バイバイバイ  
ハハハの歯ブラシで ごはんのあとに  
ハハハ ハハハ 歯をみがきましょ

⑤ MORNING体操

5歳児は運動機能も伸び、朝から友達同士と触れ合う楽しさを感じてもらえるような体操にしました。

みんな集まれ! はじまるぞっぞっぞっ  
M!! みんなできるかな?  
O!! おっはっよう おはよう  
R!! ランランラン ランランラン ランランラン  
N!! にっこり にこにこ  
I!! いっしょにのびましよう  
N!! なかよしこよし  
G!! 元気いっぱい遊ばましよう

⑥ 探検にいこう

友達の存在が大事なことがわかり、あそびの中で自らいろいろ工夫して表現あそびをします。

今からおやつを探しに探検しよう!  
何がでてくるかな?  
いろんな動物を探しに Let's Go!

象 (パオー) 鳥 (ピーピー) ウサギ (ピョンピョン) サル

カエル（ゲロゲロ）　へび（ニョロニョロ）  
（好きな物になって　おやつを見つけて喜ぶ）

⑦ プールに入る前体操

5歳児は運動機能は発達しているのです、少し難しい動きも入れてみました。

1) 今日も太陽あついから

プールに入ってげんきにあそぼ

バチャバチャバチャバチャ　たのしくあそぼ

バチャバチャバチャバチャ　すーいすい

お魚みたいに　すーいすい

2) 夏は太陽あついから

プールに入ってげんきにあそぼ

バチャバチャバチャバチャ　たのしくあそぼ

バチャバチャバチャバチャ　すーいすい

お魚みたいに　すーいすい

－ 作品収録 －

☆ 園の行事（入園式、お誕生会、七夕まつり、クリスマス会、卒園式等）をテーマに創作する。

園生活で様々な出来事を体験し、感動し、共有しあう。

☆ 運動会用ダンス創作

自己表現を自由に友達と楽しめるように幼児理解を深め適切な環境を考慮する。

（ 10名～12名　1グループでテーマ、動き、うたを創作し発表会をもった。園児の生活をイメージしながら楽しくスムーズに創作活動に臨んでいた。　－ 作品収録 － ）

(2) その2

**ことばかけ**（自発的に自由に表現させる）

保育者の「ことばかけ」で幼児の心を揺さぶり何かを感じ、考え、友達や保育者に伝達する喜びを体験させる。

開放的な気分を味わいながら保育者からの「ことばかけ」からイメージを増幅させ、創意工夫し、感性を高めていく。

<指導案>

年 月 日

幼児の表現あそび

幼 No. 氏名 \_\_\_\_\_

_____ 班	結果 (反省)
テーマ _____	_____
目 標 (設定理由) _____	_____
ことばかけ _____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

☆ 学生同士で保育者役と園児役になりロールプレイングを行った。

(実践テーマの一例)

- 雲の上に遊びに行こう
- 宇宙へ行こう
- 洗濯の楽しさ
- 私はだあれ
- 夏の生き物、ちっちゃな生き物
- 楽しい運動会
- 風のいろいろ
- お片づけ出来るかな
- ブタさんのたんけん

— 発表収録 —

☆ 「ことばかけ」には効果音にタンバリン、ピアノ、動機付けに絵本の読み聞かせ、紙芝居等用いて創意工夫をしていた。3グループに分かれての模擬体験なので相互の発表が即研修の場となった。テーマ（内容）も徐々に好奇心を育み、感動する心を育て、友達と楽しく、創造力を養う内容へと深まり、幼児役の学生も豊かな創造力とユニークな表現へと高められた。このロールプレイングで保育者と幼児のコミュニケーションの難しさを体験できたようであった。

### Ⅲ 考 察

高校での創作舞踊の経験者は1/4ほどで「自己表現」の心の開放に時間がかかりみんなでリズムにのっての運動の快感からの導入となった。

グループによる創作過程における協力は、運動のイメージを豊富にし個人では表現できない高度な表現をも可能にしていく。この創作実践は人間形成を目的とした最も基本的でかつ最も効果的な教育手段としての重要性を再確認できた。

幼児への身体表現への効果的なアプローチには豊かな表現力と創造性、高い情操と審美能力を持ち幼児の自己表現を豊かにするための様々な環境づくりと小学校への連携を留意した指導工夫が必要である。

### Ⅳ おわりに

学生の創作実践が教育現場で生かされる様子を追跡調査し「幼児への身体表現の効果的なアプローチ」の指導のための研究を深めて学生への資質向上に寄与したい。

今回は数年間の系統的な指導の実際の概要を述べるに至った。今後さらにこれを分析、研究し効果的な指導法を深めて生きたい。

#### 参 考 文 献

- |                        |             |         |
|------------------------|-------------|---------|
| 邦 正美 著                 | 教育舞踊言論      | 万有出版    |
| 邦 正美 著                 | 舞踊創作と舞踊演出   | 論創社     |
| 渡辺 江津 著                | 舞踊創作の理論と実際  | 明治図書出版  |
| 文 部 省                  | 「幼稚園教育要領解説」 | フレーベル館  |
| 黒川 建一 編                | 保育内容「表現」    | ミネルヴァ書房 |
| 日本女子体育連盟紀要 '94-2 '98-1 |             |         |